

とねやま

編集・発行

大阪府立刀根山支援学校
 本校教育部・訪問教育部
 ☎06-6853-0200
 大阪精神医療センター分教室
 ☎072-847-6951
 大阪大学医学部附属病院分教室
 ☎06-6876-5229
 関西医科大学総合医療センター分教室
 ☎06-6995-5215
 関西医科大学附属病院分教室
 ☎072-845-7033
<http://www.osaka-c.ed.jp/toneyama-yl/>

皆さん、令和3年度もあと20日ほどを残すところとなりました。今年度も新型コロナウイルスによって、日常生活はもちろん、学校生活、そして社会全体が大きな影響を受けた1年でした。マスクを付け、人との距離を保たなければならぬ生活が当たり前になりました。ですがそのような中だからこそ、私は人とのつながりの大切さを改めて感じる年になったのではと思っています。人は、どのような社会の中でも、色々な人と関わり、学び、成長していくものです。そのことを証明するのが、当たり前前の感謝の言葉『ありがとう』の重さだと感じました。マスクを付け、話をしてもお互いの顔が半分見えない状況ですが、そのような時だからこそ感謝の言葉をしっかり伝えたいと思います。困っている時に、周りの人が助けてくれることがあります。その時には、しっかり『ありがとう』と伝えます。しかし、些細なことに対しては、ついつい伝えずに済ましてしまうことがあるかもしれません。それは大切な言葉を伝える機会を自ら逃していると思います。『ありがとう』と言われ、嫌な気持ちになる人はいないでしょう。言われた人は、「よかった！また、困っている人がいれば助けよう！」と思うでしょう。その連鎖が絆を深めるのです。このような世の中だからこそ、どのようなことにでも、感謝の気持ちを忘れず、心を込めて『ありがとう』の言葉を伝えることが大切なのではと思います。さて、あと数日で新しい年度を迎えますが、準備はできていますか。新しい進路や学年に進み、楽しいこと、つらいこと、たくさんの方が皆さんを待っています。感謝の言葉を伝える機会を逃さず、絆を深め、その一つ一つをたくさんの人と共有できるようになって欲しいと思います。4月からの新しい生活が皆さんにとって素晴らしい1年となりますよう、心から祈っています。

校長 高河原 健

卒業生への言葉

卒業おめでとうございます。卒業後もどんどん成長していくと思います。それに伴って楽しいことばかりではなく、苦しいことや辛いことも目の前に立ちふさがるかもしれません。でも、何があってもきっと乗り越えて行けます。今後の更なる成長や活躍に期待しています。精神分教室教職員一同

高等部卒業を迎えて

SRさん、ご卒業おめでとうございます。小学部から高等部まで刀根山支援学校ではたくさんの友だちや先生たちと色々な勉強をしてきましたね。先生たちもRさんの頑張る姿、たのしみながら挑戦しつづける姿にいつも元気をもらっていました。卒業しても刀根山支援学校での素敵な思い出や経験を忘れずに、新しいステージで頑張ってください。本校教育部教職員一同

中学3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。つらい治療の日々、会いたい人にも会えない、外にも出られない日々をずっと我慢して院内学級で勉強してきましたね。いつもあきらめず、前向きに目標に向かって進んでいく姿に、まわりのみんなが励まされていました。この日々は将来、みなさんの力になるはずです。つらいことがあってもこの院内学級での日々を思い出して、乗り越えて行ってほしいです。高校生活がエンジョイできることを願っています。これからずっと応援しています。

阪大分教室教職員一同

【ロボットプログラミング選手権 2021 全国大会】

令和4年2月1日にロボットプログラミング選手権の全国大会が開催されました。この大会は、生徒たちが事前にプログラミングしたロボットで相撲をする大会です。令和3年11月に行われた近畿・東海・北陸地区大会を優勝した本校教育部のチーム「Violet（ヴァイオレット）」は、全国大会1回戦で佐賀県立中原特別支援学校と対戦しました。見事2勝1分で勝利し、2回戦に進みました。2回戦は、千葉県立仁戸名特別支援学校との対戦でした。手に汗握る白熱した戦いでしたが、惜しくも1勝2敗で負けました。ちなみに優勝したのは、千葉県立仁戸名特別支援学校でした。本大会のエントリー数は総勢56チームでした。その中で、Violetは全国ベスト8の記録を残しました。普段、情報の授業で学習しているプログラミングの力が、全国でどれくらいなのかを試せるとてもいい機会でした。生徒たちは、さっそく来年度の大会に向けて、戦略を考え始めていました。



本校教育部

☆☆パソコン交流会☆☆

12月11日(土)パソコン交流会(プログラミング教室)を行いました。今年度は感染症対策のため、校内とライブ配信での同時開催に挑戦しました。

また、プログラミング教室の講師やチラシ作成に生徒が挑戦しました。生徒たちは、限られた時間、いろいろな制約の中でも楽しみながら頑張りました。新たな取り組みでしたが、参加者からは、「また参加したい」「とても分かりやすかった」「楽しかった」などの感想をいただきました。



☆☆文化祭☆☆

12月11日(土)に文化祭を行いました。今年度は歌、コント、プレゼンテーションでの学校生活の紹介、ロボットプログラミング大会の振り返りムービー、高等部3年生の生徒の『私の3年間』のムービー発表を行いました。どの演目も限られた練習時間でしたが、前日ギリギリまで準備・練習を重ねていきました。練習期間中は、間に合うのかと不安でしたが、無事間に合いとても良い文化祭になりました。参加者からは、「新たな一面が見れた。」「こんなこともできるのか。」などの感想をいただきました。



☆☆芸術鑑賞会☆☆

12月16日(木)と1月19日(水)芸術鑑賞会を行いました。今年度は、声楽家の青野浩美さんと、手作り楽器演奏家のマエストロ足立さんにお越しいただき、素晴らしい演奏会を披露していただきました。青野浩美さんには、気管切開をした声楽家としての、ご自身の生き方や考え方をお話しいただくとともに、その中で大切にしてきた歌を歌っていただきました。マエストロ足立さんからは、さまざまなものを使って楽器を作って、自分や周りの人を楽しませるその姿勢を教えてくださいました。参加者からは、「あきらめないことの大切さを教えてもらった。」「挑戦することの楽しさを知った。」などの感想をいただきました。



訪問教育部

☆オンライン授業☆

新型コロナウイルス感染症の影響により、1月下旬から訪問先のいくつかの病院に、教員が行くことができなくなりました。対象の病院に入院している訪問教育部に在籍する児童生徒にオンライン授業を行いました。

訪問教育部では、ほぼ初めての取り組みとなりました。オンライン授業をしてみて、様々な課題があることに気づきました。けれども、オンライン授業ならではの良いこともありました。例えば病室では難しい理科の複雑な実験を見せることができたり、教材を画面共有することで、児童生徒が詳しく見たいところを自分で拡大して見ることができたりしたことです。



授業中です



☆愛仁会リハビリテーション病院☆



3学期は初詣疑似体験でスタート。紐を引っ張って力強く鈴を鳴らし、「幸せどこどこやってこ〜い」と、年の始まりをお祝いしたり、「楽しいことやできることが増えますように」「健康第一」ほか、筆ペンでそれぞれの願いカードを書いたりもしました。季節を感じる事が難しい環境ではありますが、お話や画像、音楽、感触遊びなどを通して学習に励んでいます。2月後半は、オリンピックに、ピンポン雪合戦、強運を呼び込むアイテム「招きトラ」づくりに夢中です。



◆わにタイム◆

大阪精神医療センター分教室で行っている「わにタイム」を紹介したいと思います。

「わにタイム」は、自立活動の一環として週に4回行っています。小学部、中学部ともに行っており、内容はトランプ、ウノなどのカードゲームから、人生ゲームなどのボードゲーム等様々なゲームをみんなと輪になって行うものです。この時間を通して、みなさん新しいゲームを覚えたり、友だちとルールを守って遊ぶ楽しさを学んでいます。

◆わにトレ◆

次にもう一つ自立活動の一環として行っている「わにトレ」を紹介します。「わにトレ」は小学部は週に一回、中学部は月に一回行っています。内容は「みんなと協力して行うことの大切さ」を伝えるために様々なことを行っています。今回は1月に小学部で行われたものを紹介します。この「わにトレ」では、みんなと協力して50m走が速くなるトレーニングとドッジボールが上手くなるトレーニングを行いました。フラフープの輪の中に入った状態で、飛んでくるゴムボールを避ける練習をしたり、太もも上げをしたりしました。みんなでわいわい楽しい時間を過ごすことができました。

春よこい！



1月に毎年恒例の新春お楽しみ会を行いました。みんなでわいわいと集まって楽しみたかったのですが、今年は2つの教室に分かれての実施となりました。

書き初めは、新年の願いと新春の息吹が感じられるすばらしい作品が出来上がりました。

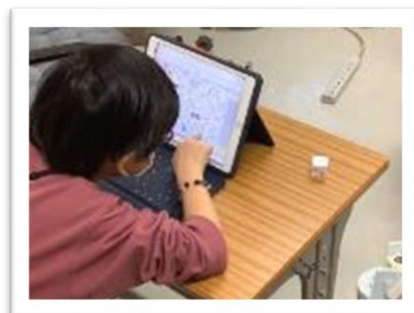
伝承遊びコーナーでは、けん玉やコマ回しを楽しみました。得意な友だちに教えてもらったり、あきらめず何度も挑戦したりして、各々がむかしあそびを楽しむことができました。



こんなことしているよ

小学生がiPadを操作していますね。「ジャムボード」というデジタルホワイトボードを使って、すごろくゲームを楽しんでいるところです。すごろくは、なんと1年生の児童が生活の授業で手作りしたものです！ベッドサイドで学習する児童と、教室で学習する児童が、近くで一緒に遊んでいるような感覚でした。

ゲーム後は、「絵がとても上手！」「楽しかった！」など、あたたかい感想が聞こえました。



関西医科大学総合医療センター分教室 (滝 井)

毎日の学習、頑張っています！

関西医大総合医療センター分教室では、毎日午前9時30分から午後3時45分まで学習しています。

毎日小・中学生が5階の病棟に集合して、仲良く登校し、学習に励んでいます。

今まで通っていた学校の定期テストを分教室で受ける中学生も多くいます。

電子黒板、活躍中！

分教室には電子黒板が設置されています。

電子黒板は、インターネットにつないで動画を見たり、先生が作ったパワーポイントの資料を提示したり、電子ペンを使ってあらゆる色で図を描いたりすることができるので、児童生徒の皆さんにわかりやすく教えることができます。

もちろん、チョークの粉やインクで手が汚れないので、病院内にある分教室にはうってつけです。

休憩時間には、児童生徒が楽しくお絵かきをしている姿も見られます。

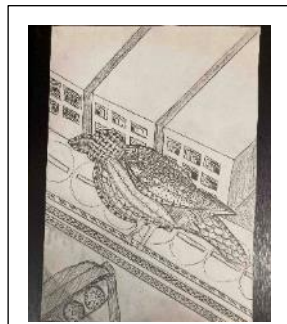
今後、デジタル教科書が導入されると、もっと活躍シーンが増えていく電子黒板。

児童生徒の皆さんに、わかりやすく楽しい授業を届けることができたいと思います。



きれいな作品が生まれています。

美術や図工の時間にいろいろな作品を作っています。左下の作品は子どもたちが紙粘土で作った動物マグネット、右下の作品は禅タングルアートです。



関西医科大学附属病院分教室 (枚 方)

🐯 今年の目標は？ 🐯

気持ちも新たに新学期が始まりました。1月の掲示板には子ども達や教員の今年の抱負が並びました。



「英語の勉強をがんばる」「鉄棒が上手にできるようになりたい」など勉強やスポーツの目標や、新しいことへの挑戦、「何事にも全力で」「初心を大切に」など、さまざまな決意が表れていました。

😊 応援します！ 😊



↑これはなんでしょう？…“応援うちわ”です！

「好きな人を応援するうちわを作ろう！」の呼びかけに、子どもたち、保護者、教員が思い思いのうちわを作成しました。アイドル、歌手、プロ野球選手、お笑い芸人など対象はさまざまです。「表には顔写真を貼って、裏はどうしよう？」と頭を悩ませながら作りました。作っていくうちにだんだん力が入り、文字の色や形、装飾にもこだわって、力作ぞろいとなりました。このうちわを持って、コンサートや野球観戦に行ける日が待ち遠しいです。

今年度も制約がある中、協力して掲示板を作ったり、すごろくやカードゲームを楽しんだり、友だちと関わりながら楽しく活動ができました。